

公定歩合引上げ等に関する政策委員会議長談

(昭和55年2月18日)

商品市況が急速に上昇テンポを速め、卸売物価の騰勢が一層強まっている中で、物価先高感が台頭しつつあるなど、今後の物価動向は一段と警戒を要する状況となった。一方国内景気は依然堅調に推移しており、国際収支も大幅赤字基調にある。

以上のような状況の下で、日本銀行は今後とも物価の上昇を極力抑制していく趣旨から、この際金融面の措置を一段と強化することを適当と判断し、本日公定歩合を1.0%引上げることを決定し、2月19日から実施することとした。

準備預金制度の準備率についても引上げを行う方針である。

日本銀行としては、今回の措置が物価に対してのみならず為替相場の安定化にも資することを期待している。

日本銀行基準割引歩合および貸付利子歩合の変更

(昭和55年2月19日実施)

- | | | |
|---|--------|-----------|
| 1. 商業手形割引歩合ならびに国債、
特に指定する債券または商業手形
に準ずる手形を担保とする貸付利
子歩合 | 年7.25% | (1.0%引上げ) |
| 2. その他のものを担保とする貸付利
子歩合 | 年7.5% | (1.0%引上げ) |